

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
2	S0011301	顆粒球減少	白血球のうちの顆粒球(好中球)の減少
3	S0002001	酩酊状態	酒によっぱらった状態
4	S0005774	跛行	歩行障害
5	S0005773	譫妄	せんもう(ないものが見えたり妄想などで混乱したりすること)
6	S0002102	膵機能障害	膵臓の機能(消化酵素、インスリン分泌)の低下
7	S0012101	膵外分泌機能障害	膵臓の機能(消化酵素分泌)の低下
8	S0005759	膀胱直腸障害	尿漏れや便漏れや排便排尿が自律神経系の障害によりうまくできないこと
9	S0005758	膀胱障害	尿漏れしたり排尿がうまくできないこと
10	S0001997	膀胱刺激症状	残尿感や頻回の尿意や排尿時の痛みなど
11	S0005757	膀胱機能障害	尿漏れしたり排尿がうまくできないこと
12	S0011996	膀胱炎症状	残尿感や頻回の尿意や排尿時の痛みなど
13	S0000174	腓腹筋痛	ふくらはぎの筋肉痛
14	S0005748	腓骨神経麻痺	足甲がしびれ足背の第一趾と第二趾の付け根の狭い部分だけに触っても感じない部分があり足首を上にも曲げることができ、歩くときに足を引きずる状態
15	S0005746	脾腫大	脾臓が大きくなること
16	S0005743	脾腫	脾臓が大きくなること
17	S0005741	脾機能亢進症状	脾臓の機能が亢進し赤血球などが壊されること
18	S0002031	腋窩リンパ節腫脹	わきのしたのリンパ節の腫れ
19	S0005738	腋毛脱落	わきのしたの毛の脱落
20	S0000581	羞明感	まぶしい感じ
21	S0005724	眩暈	めまい
22	S0010631	瘰癧	顔や頬の筋肉などがつっぱった瘰癧で笑っているように見える状態
23	S0005702	痲皮形成	かさぶたが出来る状態
24	S0000265	疝痛	激しく射し込むような痛み
25	S0001526	漿液性鼻汁	さらっとした水っぽい鼻汁
26	S0001525	漿液性血性鼻汁	さらっとした水っぽいが血が混じった鼻汁
27	S0005685	恍惚感	うっとりぼーっとした楽しい感覚
28	S0005684	徘徊	歩き回ること
29	S0000159	嚥下痛	呑み込むときに痛みがある状態
30	S0005679	嚥下障害	呑み込むことがうまくいかない状態
31	S0000580	嚥下時異和感	呑み込むときに違和感がある状態
32	S0005677	嚥下困難	呑み込むことが困難な状態
33	S0001686	嚥下筋麻痺	呑み込む筋肉の麻痺
34	S0005675	嘔吐	吐くこと
35	S0005672	嗜眠傾向	意識が低下しているためこうとうしているように見える状態
36	S0005670	嗶声	声がかれること(させい)
37	S0025668	嗅覚低下発作	臭いの感覚の低下が突然起こること
38	S0025664	嗅覚低下・消失	臭いの感覚の低下や消失
39	S0005666	嗅覚障害	臭いの感覚の低下
40	S0000088	嗅覚異常	臭いの感覚の異常
41	S0005662	喘鳴音	ぜんそく時の聴かれるぜいぜい音
42	S0005660	喘鳴	ぜんそく時の聴かれるぜいぜい音
43	S0001994	喘息様症状	ぜんそくのような症状
44	S0001614	喘息発作	ぜんそくの発作
45	S0023217	喘息症状	ぜんそくの症状
46	S0001086	喀痰量増加	痰の量が増えること
47	S0005657	喀血	血を咳とともに吐き出すこと
48	S0005652	咬合不全	噛み合わせがわるいこと
49	S0005651	咀嚼困難	物を噛んだり砕いたりすること(そしゃく)が難しいこと
50	S0021647	肋間筋麻痺	呼吸をするための肋骨の間に筋肉の麻痺
51	S0001733	漏斗胸	前胸部が胸郭の形の異常でへこんでいる状態
52	S0000764	労作時呼吸困難	運動や作業などで体を動かそうとすると呼吸困難が起こること
53	S0005638	裂肛	肛門の一部が切れたようになる切れ痔
54	S0005636	冷汗	ひやあせ
55	S0005631	涙液分泌低下	涙があまり出ないこと
56	S0025629	涙液分泌過剰	涙が出過ぎること
57	S0005630	涙液分泌異常	涙が出過ぎるあるいはあまり出ないこと
58	S0005624	輪状影	レントゲン所見などで輪つか状に陰影が見えること
59	S0001484	臨床的蛋白尿	臨床上も問題となる程度の多い量の蛋白が尿に出ること
60	S0005617	両側縮瞳	両目の瞳孔が縮小していること
61	S0025610	両心不全症状	左心不全と右心不全があること
62	S0005609	両耳側半盲	左右の耳側の視野が半分欠けていること
63	S0005603	粒状網状影	レントゲン所見でつぶつぶ状で網目のような陰影があること
64	S0005602	粒状影	レントゲン所見でつぶつぶ状の陰影があること
65	S0005599	流涙	涙が流れるように出て止まらない症状
66	S0001613	溶血発作	血管内で赤血球が壊れてヘモグロビンなどの成分が血液中に溶け出す発作
67	S0005584	溶血性貧血	血管内で赤血球が壊れてヘモグロビンなどの成分が血液中に溶け出すことで貧血になること
68	S0021039	溶血性尿毒症症候群	血管内で赤血球が壊れてヘモグロビンなどの成分が血液中に溶け出すことで腎臓の機能が障害を受けること
69	S0001992	溶血症状	血管内で赤血球が壊れてヘモグロビンなどの成分が血液中に溶け出すこと
70	S0005580	融合性疼痛	にきびが連なること
71	S0000264	有痛性腫瘍	押すと痛みをとまぬ腫瘍
72	S0005571	幽門狭窄	胃の出口である幽門部分が狭くなり食物の通過が障害されること
73	S0005570	薬物依存	習慣性のある特定の薬物に中毒になり依存すること
74	S0005561	薬剤性出血傾向	薬剤の副作用で出血しやすくなる(血液の凝固成分が減ったり機能が障害される)
75	S0005559	野牛肩	バッファローのような肉の盛り上がった肩の形になること
76	S0005558	夜盲	夜間や薄暗がりで見えなくなる
77	S0005529	霧視羞明	霧がかすむように見えまぶしいこと
78	S0000576	霧視感	霧がかすむように見えること
79	S0005527	無嗅症	臭いがわからないこと
80	S0001475	無尿	全く尿が出ない(尿が膀胱にたまらない)こと
81	S0025339	無痛性浮腫	押しても痛みのない皮膚のむくみ
82	S0000262	無痛性皮膚潰瘍	押しても痛みのない皮膚の潰瘍
83	S0000260	無痛性リンパ節腫脹	押しても痛みのないリンパ節の腫れ

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
84	S0001474	無症候性血尿	他に症状や検査異常もなく血尿だけであること
85	S0005519	無酸症	胃で胃酸が出ないこと
86	S0000761	無呼吸発作	呼吸をしない時間がしばらく続発があること
87	S0005515	無言症	しゃべろうとしない状態
88	S0001473	無菌性膿尿	白血球の死骸(膿)はあるが細菌は検出されない尿のこと
89	S0005510	無菌性尿道炎	尿に細菌が見つからない尿道炎
90	S0005509	無緊張性膀胱	膀胱の筋肉が収縮しない状態
91	S0005507	無気肺	気管支やその先に詰まっている部分があって肺の一部または全部に空気が入らないでしぼんでいる部分が生じている肺の状態
92	S0000980	無汗症	発汗を促すような高温多湿においても、発汗がみられない状態で皮膚が乾燥する
93	S0005489	脈圧減少	血圧の収縮期と拡張期の圧の差の減少
94	S0005488	脈圧拡大	血圧の収縮期と拡張期の圧の差の拡大
95	S0005487	脈なし	四肢で脈拍を感じられない状態
96	S0005480	満月様顔貌	丸くなったような顔(ムーンフェイス)で薬剤やホルモンの異常が原因のことが多い
97	S0001987	慢性溶血症状	慢性的に血管内で赤血球が壊れてヘモグロビンなどの成分が血液中に溶け出すこと
98	S0005471	慢性失血	慢性的にどこからか少しずつ出血している状態
99	S0005462	末端チアノーゼ	四肢の末端のほうに酸素の多い血液が十分に届かず皮膚の色が青紫調担っている状態
100	S0005461	末梢浮腫	四肢の末梢のほうがむくむ状態
101	S0005459	末梢静脈怒張	四肢の静脈が普通より膨らんで目立つほど張っている状態
102	S0005458	末梢性ニューロパチー	四肢の末梢の神経の炎症で異常な知覚がある状態
103	S0005457	末梢性チアノーゼ	四肢の末梢のほうに酸素の多い血液が十分に届かず皮膚の色が青紫調担っている状態
104	S0005455	末梢神経障害	四肢の末梢の神経の炎症で異常な知覚があったり知覚が低下している状態
105	S0001986	末梢神経症状	四肢の末梢の神経の炎症で異常な知覚があったり知覚が低下している状態
106	S0005451	末梢血好酸球増多	血液中の好酸球が増えている状態
107	S0002029	末梢血リンパ球増加	血液中のリンパ球が増えている状態
108	S0002028	末梢血リンパ球減少	血液中のリンパ球が減少している状態
109	S0012027	末梢リンパ節腫脹	四肢のリンパ節が腫れている状態
110	S0005441	膨疹	皮膚表面からある程度の面積で盛り上がりてふくらんだような皮疹
111	S0005440	房室伝導障害	心臓の収縮のための電気刺激が心房から心室へ伝わる途中で障害があること
112	S0005439	房室ブロック	心臓の収縮のための電気刺激が心房から心室へ伝わる途中で障害があること
113	S0001471	乏尿	尿量が非常に少ないこと
114	S0005434	泡沫痰	泡沫の痰を出すこと
115	S0000190	放散痛	本来問題のある臓器の場所でなくそこから離れた場所に痛みを感じる
116	S0001679	片麻痺	左半身または右半身だけの麻痺
117	S0005417	片頭痛様頭痛	頭の片側または全体に拍動するような頭痛を感じる頭痛の一形態に似た頭痛
118	S0000204	片頭痛発作	頭の片側または全体に拍動するような頭痛を感じる頭痛の一形態が突然おこること
119	S0000203	片頭痛	頭の片側または全体に拍動するような頭痛を感じる頭痛の一形態
120	S0005403	閉塞性黄疸	肝臓で産生された胆汁が十二指腸に排出される途中経路で詰まっているために胆汁が排泄される血液中にその成分が出ることで起こる黄疸
121	S0001816	閉眼不全	目をきちんと閉じられないこと
122	S0005397	複視	ものが二重にだぶって見える状態
123	S0005395	腹鳴	おなかゴロゴロなる状態
124	S0001982	腹膜刺激症状	腹部を触ろうとすると反射的に腹壁が固くなったり、腹部を押して離すときに痛いなど腹膜炎のときに見られる症状
125	S0005391	腹壁静脈怒張	腹壁の静脈の血液量が増えて膨らんで目立つ状態
126	S0005390	腹部痙攣	腹部の痙攣のような痛み
127	S0000188	腹部疼痛	腹部の痛み
128	S0005389	腹部痙攣発作	腹部の射し込むような強い痛みが突然起こること
129	S0000187	腹部痙攣	腹部の射し込むような強い痛み
130	S0005387	腹部膨隆	腹部が中から盛り上がりて腫れているような感じ
131	S0000566	腹部膨満感	腹部が中から盛り上がりて腫れているような感じ
132	S0005384	腹部不定愁訴	腹部に関連したさまざまな症状があったりなかったりすること
133	S0000565	腹部不快感	腹部になんとか不快な感覚を感じる
134	S0000564	腹部重圧感	腹部に重い重しを載せているような感じ
135	S0005379	腹部腫瘤触知	腹部に押すと内部に瘤のような固まりを感じる
136	S0005377	腹部硬直	腹部の表面が固く板のように感じられる状態
137	S0000705	腹部血管雑音	腹部に聴診器をあてると血管の拍動にあわせて血液の流れる雑音が聞こえること
138	S0000563	腹部違和感	腹部になんとか不快な感覚を感じる
139	S0000562	腹部圧迫感	腹部を圧迫されているような感じ
140	S0000183	腹部圧痛	腹部の押すと痛みがすること
141	S0005371	腹水	腹部の内蔵と腹壁の間の隙間(腹腔)に水分が溜まること
142	S0000820	腹腔内出血	腹部の内蔵と腹壁の間の隙間(腹腔)に出血した血液がたまるしていること
143	S0025369	腹腔内リンパ節腫脹	腹部の内蔵と腹壁の間の隙間(腹腔)にあるリンパ節が腫れること
144	S0000561	浮遊感	体がういてふわふわするような感覚があること
145	S0005332	浮腫	むくみ
146	S0005326	不明熱	熱が続くが原因がなかなか判明しない状態
147	S0005321	不定愁訴	これといったいつも同じ明確な症状を訴えるわけではなく、いろいろな症状を訴える状態
148	S0001676	不全麻痺	麻痺で全部の筋肉が完全に麻痺しているわけではない状態
149	S0001675	不全片麻痺	左右のどちらか片半身の麻痺で全部の筋肉が完全に麻痺しているわけではない状態
150	S0005316	不整脈	脈が規則的でない状態
151	S0005315	不随意運動	意図しないのに体の一部が動く状態
152	S0005301	頻脈	脈が多い状態
153	S0005300	頻拍性不整脈	脈のリズムが一定でなく脈回数は多い状態
154	S0001469	頻尿	尿の回数が多い状態
155	S0001980	貧血症状	貧血に伴うと思われるいろいろな症状
156	S0002026	表在リンパ節腫脹	体表から簡単に触れることのできる場所にあるリンパ節の腫れ
157	S0005284	膝蓋腱反射亢進	膝のお皿の下の反射が強く出過ぎる状態
158	S0025283	膝蓋腱反射消失	膝のお皿の下の反射の消失
159	S0001518	鼻閉感	鼻が詰まった感じ
160	S0001468	微量アルブミン尿	アルブミンという蛋白質の一種を微量検査で尿中から検出すること
161	S0000966	飛蚊症	目の前にしつこく蚊が飛んだり、ゴミが浮遊しているように見える状態
162	S0001580	皮膚落屑	皮膚の表面のかさかさかさがフケのように削れ落ちる状態
163	S0005255	皮膚剥離	皮膚の表面の一部がはがれたような傷
164	S0001569	皮膚粘膜びらん	皮膚と粘膜部分がただれたようになる状態
165	S0001561	皮膚弛緩	皮膚の直下にある皮膚の張りを維持するための組織が弱くなった状態
166	S0001560	皮膚脱失	皮膚の一部がはがれてとれた状態

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
167	S0001559	皮膚苔癬化	皮膚のごわごわと固くなり固い苔に覆われたような感じの状態
168	S0005249	皮膚粗ざら	皮膚の表面のキメが粗くざらざらした感じ
169	S0001554	皮膚線条	皮膚の引っ掻いたあとにのこる線状のあと
170	S0001553	皮膚浸潤	皮膚の病気が周辺にしみ出すように広がっている感じ
171	S0001548	皮膚湿潤	皮膚の表面がじめじめした感じ
172	S0001544	皮膚硬化	皮膚が固くなっている感じ
173	S0001540	皮膚乾燥	皮膚が乾燥している感じ
174	S0011974	皮膚角化	皮膚の表面の角質が厚く固くなって魚の目の表面のような状態
175	S0005240	皮膚壊死	皮膚の一部に血液が供給されなくなって部分的に組織が死んでいる状態
176	S0005239	皮膚温低下	皮膚の表面の温度が低い感じ
177	S0001538	皮膚黄染	皮膚の色が黄色く染まって見える状態
178	S0001536	皮膚萎縮	皮膚がチリチリに表面が縮んでいるように見える状態
179	S0005211	皮疹	皮膚におできや湿疹やぶつぶつや膨らんだ部分があった状態
180	S0005210	皮質盲	大脳皮質と呼ばれる脳表面の部分の機能が障害されて起こる目の見えない状態
181	S0005203	皮下石灰化	皮膚の直下に石灰状のものがレントゲンなどで映る状態
182	S0005202	皮下小結節	皮膚の直下に粒状のものを感ずる状態
183	S0005200	皮下腫瘤	皮膚の直下にぐりぐりとしたしこりを感じる状態
184	S0005197	皮下硬結	皮膚の直下に固い部分を感じる状態
185	S0005196	皮下血腫	皮膚の直下に出血が溜まっている状態
186	S0005195	皮下結節	皮膚の直下にこりこりしたものを感ずる状態
187	S0005194	皮下気腫	皮膚の直下に空気が浅く広く組織内を広がって触ると雪をつかむようなじりじりした感觸を感じる状態
188	S0001310	汎血球減少	血液中の赤血球、白血球、血小板など主要な細胞成分が総じて数が減っている状態
189	S0005183	斑状皮疹	まだら状に出現した皮膚の発疹
190	S0005134	斑状発汗	皮膚などでまだら状に汗をかく状態
191	S0000816	斑状出血	皮膚などでまだら状に出血している状態
192	S0005179	斑状影	レントゲンでまだら状に陰影が見える状態
193	S0001079	反復痛	繰り返し何度も痛みを感じることに
194	S0005177	反復性嘔吐	繰り返し何度も嘔吐すること
195	S0001465	反復性肉眼的血尿	繰り返し何度も肉眼でみてわかるほどの赤い血尿が出ることに
196	S0005176	反復性頭痛	繰り返し何度も頭痛があることに
197	S0025174	反復性耳下腺腫脹	繰り返し何度も耳下腺の部分が腫れることに
198	S0005175	反復性血管虚脱	繰り返し何度も体に循環している血液が減って血管特に静脈がべちゃんこになっているような状態になることに
199	S0001464	反復性ミオグロビン尿	繰り返し何度も茶褐色の尿が出て尿中にミオグロビンという筋肉から出てくる成分のタンパク質が検出されることに
200	S0000077	反跳性圧痛	押して離すときに特に痛みを感じることに
201	S0005168	反射性嘔吐	突発的に刺激に反応して嘔吐すること
202	S0005164	半盲	視野の半分が見えないことに
203	S0005161	半身性チアノーゼ	体の左右のどちらか半分が酸素が十分に行き渡らないで体が青紫色に見える状態になることに
204	S0001730	鳩胸	生まれつきの胸郭の形が両側から前胸部中央部分に向かって飛び出すような形になっている状態
205	S0035568	発疹型薬疹	発疹のようにみえるタイプで摂取した薬の体が反応して出現する皮膚症状
206	S0005141	発疹	皮膚にぶつぶつやおできや湿疹やふくらんだ部分などが出現する状態(ぼっしん)
207	S0005140	発作性嘔吐	何かの刺激を受けたように突然嘔吐すること
208	S0001606	発作性頻脈	何かの刺激を受けたように突然脈が速くなることに
209	S0010742	発作性呼吸困難	何かの刺激を受けたように突然呼吸が困難になることに
210	S0023549	発作性咳	何かの刺激を受けたように突然咳が出ることに
211	S0005137	発汗停止	汗が全く出ないことに
212	S0005136	発汗低下	汗があまり出ないことに
213	S0005135	発汗調節障害	気温や体温の変化にうまく汗の出る状態が調整できていない状態
214	S0001077	発汗増加	汗が多いことに
215	S0005129	発汗過多	汗が多く出過ぎること
216	S0005128	発汗運動異常	自律神経系の異常で汗をかかなくてよい時に汗をかいたりする状態
217	S0000079	発汗異常	汗の出かた、多い少ないの状態が異常なこと
218	S0005116	白日夢	覚醒している時に現実と異なる状況を夢のように体験しているかのような状態
219	S0005114	白苔	白い苔に覆われたような箇所
220	S0025113	白色帯下	女性性器から出る白色のおりもの
221	S0005108	白色下痢	茶褐色の便ではなく白っぽい色の下痢
222	S0001463	白血球尿円柱	尿中に顕微鏡で見ると白血球が円柱のような形になって出現していること
223	S0005105	白血球増多	血液中の白血球の数が増加している状態
224	S0001073	白血球増加	血液中の白血球の数が増加している状態
225	S0001308	白血球減少	血液中の白血球の数が減少している状態
226	S0005101	拍動性腫瘤	しこりを触れると拍動しているように感じるしこり
227	S0005095	肺野病変	レントゲンで肺の黒く映る部分に病的な陰影が見えること
228	S0005094	肺野透過性亢進	レントゲンで肺の黒く映る部分が普通以上に黒く見えないこと
229	S0005092	肺門部肺動脈拡張	レントゲンで両肺が繋がる中央部分の肺に入る動脈の幅が拡張して見えること
230	S0005089	肺病変	レントゲンで肺の部分に病的な陰影が見えること
231	S0005087	肺内シャント	肺のなかで動脈と静脈がどこかで短絡的に繋がっていること
232	S0005085	肺動脈弁閉鎖不全	心臓の右心室から肺に血液が向かう部分にある心臓の弁が閉じるべきときにきちんと閉じずに血液が逆流してくる状態
233	S0005084	肺動脈萎縮	心臓の右心室から肺に血液を送り込む肺動脈がどこかで血管中に詰まりものが詰まって血液がうまく流れない状態
234	S0005083	肺動脈狭窄	心臓の右心室から肺に血液を送り込む肺動脈がどこかで通路が狭くなって血液がうまく流れない状態
235	S0005082	肺動脈拡張	心臓の右心室から肺に血液を送り込む肺動脈が広がり太くなっている状態
236	S0005081	肺底部う音	聴診器をあてると肺の一番下部分で呼吸が狭いところを通り抜けるときの空気の通過音が聞こえる状態
237	S0005080	肺性心	肺の中の血液の通り方が不調のために右心室から肺に血液を送る動脈の圧が高くなり、結果的に右心室が大きくなったり肉の厚みが厚くなったりする心臓の状態
238	S0005079	肺性P波	肺の中の血液の通り方が不調のために右心室から肺に血液を送る動脈の圧が高くなり、そのために心電図に心房が収縮するときに出る通常は小さな山がたのP波と呼ばれる波形が大きくなること
239	S0025076	肺水腫症状	肺のなかの酸素を取り込む肺胞という微細な無数の袋状の部分に水分がたまりがちになり酸素の取込みがうまくいかない状態
240	S0005074	肺浸潤	肺結核あるいは肺結核にともなう胸膜の炎症の病気のことを指す昔の語
241	S0005073	肺症状	肺のなんらかの症状
242	S0000815	肺出血	肺のどこかから出血していること
243	S0005072	肺高血圧症	肺の中の血液の通り方が不調のために右心室から肺に血液を送る動脈の圧が高くなる状態
244	S0005069	肺機能低下	肺の呼吸機能が低下していること
245	S0005068	肺機能障害	肺の呼吸機能が低下していること
246	S0001967	肺炎症状	肺炎を起しているかのような症状(発熱、咳、たん、胸痛、息苦しさなど)
247	S0000078	肺異常陰影	レントゲンで肺の部分にふだんは見られない陰影があること

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
248	S0001966	肺うっ血症状	肺から心臓に戻る肺静脈の血液の流れがスムーズでなく血液がうったいするよう時に見られる症状(呼吸困難、咳、水っぽい痰など)
249	S0000176	背部痛	背中が痛いこと
250	S0005064	背屈障害	背中を後ろにそらすことができにくい状態
251	S0001462	排尿障害	排尿をしにくいこと
252	S0010216	排尿時疼痛	排尿をするときに下腹部や陰部に痛みを感じる
253	S0001461	排尿困難	排尿をしにくいこと
254	S0005054	排ガス	腸内に溜まっていたガスが、おならとして出ること
255	S0005053	廃用性萎縮	怪我や骨折や麻痺などで筋肉をほとんど使わない状態が続く結果として筋肉が衰えて萎縮してしまうこと
256	S0001279	廃用手	怪我や骨折や麻痺などで手の動かす筋肉をほとんど使わない状態が続く結果として手の筋肉が衰えてしまうこと
257	S0005052	馬蹄腎	うまれつき左右のふたつの腎臓が中央でひとつにつながってUの字のようになっている腎臓
258	S0005050	波状熱	周期的に高くなったり低くなったりする発熱のタイプ
259	S0021034	播種性血管内凝固症候群	全身の血管や細い血管のあちこちで無秩序に血管内の血液凝固に必要な成分が消費されて微小な血液凝固が全身でおこり、出血しやすくなったりする凝固した血液があちこちに詰まることで全身症状がでる危険な状態
260	S0005049	播種状紅斑	全身性にひろがった紅いまだら状の皮膚症状
261	S0005046	膿疱	膿みが中にたまったような小さな皮膚のふくらみのあるおでき
262	S0005045	膿痂疹	膿みが中にたまったような小さな皮膚のおできが発疹のように多発している状態
263	S0005042	膿粘血便	膿みをねっとりした血液を混じえたような弁
264	S0001460	膿尿	膿を混じえた尿
265	S0005041	膿性痰	膿を混じえた痰
266	S0001501	膿性鼻汁	膿を混じえた鼻汁
267	S0001459	膿性尿道分泌物	膿を混じえた分泌物が尿道の出口から出てくること
268	S0005039	膿疹	膿みが中にたまったような小さな皮膚のおでき
269	S0001728	膿胸	肺の外側に胸郭の内側の隙間部分(胸腔)に膿みが大量に溜まること
270	S0005035	脳浮腫	脳全体にむくみがおこり全体として体積が増えようとする危険な状態
271	S0005033	脳内石灰化	レントゲンで脳の中に小さな石灰(石)のような粒がうつること
272	S0001964	脳卒中症状	脳出血や脳梗塞のようなときに見られるしびれや麻痺や意識障害などの症状
273	S0001671	脳性麻痺	胎児期に何かの原因で脳に障害を受けた結果として全身の麻痺など運動機能の障害が起こっている状態
274	S0001670	脳神経麻痺	脳から出る12の主要な神経のいずれかの麻痺
275	S0005029	脳神経障害	脳から出る12の主要な神経のいずれかの障害
276	S0011985	脳血管閉塞症状	脳にいく血管または脳内の血管が詰まったときに見られるような脳の機能の障害
277	S0001961	脳虚血症状	脳にいく血管または脳内の血管の障害で血液が十分に脳にいかなくなったときに見られるような脳の機能の障害で意識が低下したり麻痺があるなどの症状
278	S0001252	脳幹徴候	生命維持に必要な機能(呼吸、心臓の拍動、体温維持、嚥下など)を司る脳の深部の機能の障害がみられること
279	S0005019	脳幹障害	生命維持に必要な機能(呼吸、心臓の拍動、体温維持、嚥下など)を司る脳の深部の機能の障害がみられること
280	S0001458	濃尿	色が濃く見える尿
281	S0005011	粘膜疹	口腔内などの粘膜部分に出現する発疹のようなもの
282	S0001958	粘膜刺激症状	鼻腔や口腔や気道などの粘膜部分に何らかの刺激をうけて出ているいろいろな症状(くしゃみや鼻水などもそのひとつ)
283	S0000809	粘膜下出血	鼻腔や口腔や気道、あるいは食道や胃や腸などの粘膜面の直下で出血すること
284	S0025006	粘膿性腔分泌物	膿から出てくるねばっこい液状の粘液で膿も混じっているように見えるもの
285	S0001499	粘膿性鼻汁	ねばっこい液状の粘液で膿が混じる鼻汁
286	S0001457	粘性尿道分泌物	尿道の出口から出てくるねばっこい液状の粘液
287	S0005003	粘血便	ねばっこい液状の粘液のような血液が混じる便
288	S0005001	粘液便	ねばっこい液状の粘液が混じる便
289	S0001069	粘液排出増大	ねばっこい液状の粘液が下痢のように排出する状態
290	S0001498	粘液性鼻汁	ねばっこい液状の粘液が混じる鼻汁
291	S0004997	粘液水腫様顔貌	厚ぼったく腫れてむくんだ顔で、むくんだ箇所を指で押してもへこみが出来ず、通常のむくみと比べて弾力性があり、唇や口腔内や舌などもむくみ、声帯や喉がむくんで声がかたがたりろれつが回らなくなるなど、甲状腺ホルモンの減少でおこることがある状態
292	S0023966	捻髪音	聴診器で呼吸の音とともに聞こえる髪を毛をすりすりする音
293	S0001456	熱性蛋白尿	高熱のときに尿中に蛋白が検出されること
294	S0000554	熱感	あつぱい体の感じ
295	S0001450	尿流途絶	排尿中にとげぜん尿がとぎれること
296	S0001448	尿便失禁	尿や便を意図せず漏らすこと
297	S0001447	尿閉	膀胱に尿が溜まっているのに尿が全く出せない状態
298	S0002222	尿糖陽性	尿中の糖分が検査で検出されること
299	S0001441	尿沈渣異常	尿検査で尿を遠心分離装置にかけて尿中の細胞成分などを沈めそれ(尿沈渣物)を顕微鏡で見たときに通常では見られない成分がある異常
300	S0021436	尿蛋白陽性	尿中の蛋白が検査で検出されること
301	S0001435	尿失禁	尿が意図せず漏れること
302	S0001431	尿混濁	尿が混濁していること
303	S0001430	尿検査異常	尿検査で異常がでること
304	S0001429	尿円柱	尿検査で尿を遠心分離装置にかけて尿中の細胞成分などを沈めそれ(尿沈渣物)を顕微鏡で見たときに通常では見られない円柱型の物質が見えること
305	S0001428	尿異常所見	尿検査で異常がでる所見のこと
306	S0001427	尿意切迫感	排尿したい感じが切迫してくること
307	S0021425	尿意の異常	排尿したい感じが通常と違うこと
308	S0001727	乳房胸	肺と胸郭の間の隙間(胸腔)に脂肪の多いミルクのような濃いリンパ液(にゅうび液)が溜まること
309	S0012227	乳頭部発赤	乳房の乳頭部分があかくなること
310	S0002226	乳頭部血性分泌物	乳房の乳頭部分から出る赤っぽい血の混じったような液
311	S0001814	乳頭浮腫	眼底検査で網膜中央に近い乳頭と呼ばれる部分がむくんだように見える眼底所見
312	S0001813	乳頭血管新生	眼底検査で網膜中央に近い乳頭と呼ばれる部分に新たな毛細血管が出来ている状態
313	S0004967	乳汁漏	乳房から乳汁が漏れ出る状態
314	S0004963	乳び腹水	腹部内臓と腹壁との間の隙間空間(腹腔)に脂肪の多いミルクのような濃いリンパ液(にゅうび液)が溜まること
315	S0001726	乳び胸水	肺と胸郭の間の隙間(胸腔)に脂肪の多いミルクのような濃いリンパ液(にゅうび液)が溜まること
316	S0001422	肉眼的血尿	肉眼で見てそれとわかる赤い血尿
317	S0001421	肉眼的ヘモグロビン尿	肉眼で見てそれとわかる赤い血尿で、検査すると赤血球ではなく赤血球の内容物のヘモグロビンが溶け出している尿
318	S0004954	二段脈	通常の間隔拍動の間に毎回異常な拍動が入り正常の脈と異常な脈が交互に出現しているような脈
319	S0002250	難聴	聞こえにくいこと
320	S0004947	難治性下痢	なかなか治療でも治りにくい下痢
321	S0004946	軟便	下痢ほどではないが柔らかい便
322	S0004940	内分泌障害	ホルモンなどの内分泌の機能の異常
323	S0001956	内分泌症状	ホルモンなどの内分泌の機能の異常でみられるなんらかの症状
324	S0004939	内分泌機能障害	ホルモンなどの内分泌の機能の異常
325	S0004938	内反膝	O脚のこと
326	S0004937	内反足	足の裏が内向きに向かい合うような方向に膝や足首が曲がっている状態
327	S0004936	内反尖足	足の裏が内向きに向かい合うような方向に膝や足首が曲がっている状態に加えて足先が下向きになるような方向にも曲がっている状態

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
328	S0004935	内臓肥満	腹部内臓の周囲に脂肪がついている状態
329	S0004931	内斜視	内向き方向に両目が偏って見える状態
330	S0000254	鈍痛	にぶい痛みを感じる
331	S0004927	呑酸	酸っぱいものが胸の上からのどの奥に込み上げてくるように感じる症状
332	S0004926	突発性発疹	高い熱が3-4日続き熱が下がるとおなかや背中に赤い発疹が出る乳児期の特定の病気のこと
333	S0000199	突発性頭痛	突然こめかみなどや側頭部に耐えがたいような痛みが生じる頭痛
334	S0004913	瞳孔不同	左右の目の瞳孔の大きさが異なること
335	S0004898	同名半盲	左右の目にも右半分または左半分の視野が見えない状態
336	S0004896	同名性上4分盲	左右の目にも右半分または左半分の上4分の1の視野が見えない状態
337	S0004895	同側半盲	左右の目にも右半分または左半分の視野が見えない状態
338	S0004893	動悸	どきどきと心臓の鼓動を感じる状態
339	S0002115	動揺性高血圧	血圧の高さが計るたびに比較的大きく変化するような高血圧
340	S0001725	動揺胸郭	1本の肋骨上の二箇所以上が骨折しているために、その部位が息を吸ったときにへこみ息をはいたときにふくらむようになる状態
341	S0004882	動作時振戦	動作しようとするとき細かい震えが生じる状態
342	S0000016	頭蓋内圧亢進	何らかの脳の疾患で脳の体積が増え、頭蓋骨で覆われた空間中の圧力が高まった状態で放置すると生命の危険がある状態
343	S0000011	頭圍拡大	頭の周囲径が大きくなること
344	S0004870	盗汗	睡眠中に知らない間に汗をかくこと(寝汗)
345	S0004867	努力呼吸	通常の呼吸では使用しない呼吸筋を動員して努力して行う呼吸のこと
346	S0004866	途中覚醒	睡眠中に何度か覚醒すること
347	S0004865	吐乳	呑んだ乳を嘔吐すること
348	S0004863	吐血	血液を嘔吐すること
349	S0004862	吐気	吐き気
350	S0004861	吐血	血液を嘔吐するとともに血液を肛門からも排出すること
351	S0004858	兔唇	生まれつきの異常の上唇がほぼ中央で一部繋がっておらず上唇裂という状態のこと
352	S0001804	兎眼	眼を閉じることができないために眼のおもに下側が乾燥状態しておこる症状
353	S0000070	電解質異常	血液中の主としてナトリウム、カリウム、クロールなどの濃度が異常になること
354	S0004848	停留精巢	胎児期に精巣が陰嚢の中に降りて来ないで、出生後ある程度成長しても体内に留まっている状態
355	S0001364	低電位	心電図で普通よりは波形の高さが低めである状態で、胸郭が大きいなどによる場合も多い心電図所見
356	S0001373	低張尿	薄まった尿
357	S0001350	低血糖	血液中の糖分が正常よりかなり少ない状態
358	S0004803	腸蠕動不穏	腸がごろごろ動くような感じやその音が普段よりかなりひどい状態
359	S0004802	腸蠕動音亢進	腸がごろごろ動くような音が聞こえる程度が強い状態
360	S0004792	腸管通過障害	腸のどこかに詰まったり狭くなったところが生じ、内容物がうまく通過できない状態
361	S0004791	腸管穿孔	なんらかの原因で腸に穴があいた状態で、急激に腹膜炎を起すことが多い
362	S0000805	腸管出血	腸から内腔に向けて出血している状態で、つづくと下血という形で血液を肛門から排出する症状が見られる
363	S0004789	腸管虚血	腸に栄養を送っている血管が詰まったり狭くなったりすることにより腸に十分な血液が供給されない状態
364	S0004776	朝のこわばり感	朝に手の指や手首などがこわばった感じでうまく動かせない状態がおこりがちなこと
365	S0004773	虫卵	寄生虫の卵のこと
366	S0004753	中心性肥満	手足はそうでもないのに顔や体幹部分などは太っている状態の肥満
367	S0004751	中心暗点	視野の中心部分に丸く見えない部分がある状態
368	S0005813	弛張熱	1日のなかで1度以上の変化するが37度以下に下がらない熱
369	S0001249	男性化徴候	多毛、禿、にきび、声の低音化など男性特有の症状が1つ以上みられること
370	S0001946	男性化症状	多毛、禿、にきび、声の低音化など男性特有の症状が1つ以上みられること
371	S0004709	弾硬指	ばね指とも呼び、指を曲げ伸ばしするときにしばしば抵抗感があり突然ばね仕掛けのように曲げられる症状
372	S0004699	胆道痙痛	肝臓で生成された胆汁が十二指腸に排出する途中経路である胆道のどこかに詰まりや障害があって激しい痛みが右脇腹から右上腹部に生じること
373	S0000210	胆石痙痛	胆のう結石が原因で、結石が排出されようとして詰まったりして激しい痛みが右脇腹から右上腹部に生じること
374	S0002092	胆汁うっ滞	肝臓で生成された胆汁が十二指腸に排出する途中経路である胆道のどこかに詰まりや障害があって、胆汁がうまく排出されず肝臓内にうっ滞する傾向がある状態
375	S0004679	脱水性ショック	体から出る水分が増えたり摂取する水分の不足で体内の水分が減り過ぎて血圧を維持できなくなり脈が減ったり意識不明などに陥り生命の危機的状態
376	S0001943	脱水症状	体から出る水分が増えたり摂取する水分の不足で体内の水分が減った状態で引き起こされる喉の乾き、頭痛、全身のだるさ、吐き気、めまいなどの様々な症状
377	S0000130	叩打痛	患部を押したりするだけではそれほどでもないのに、叩くときにひどい痛みを感じるような痛みのこと
378	S0000068	代謝異常	代謝(生体に必要なさまざまな物質の生成、分解、利用、排出など過程)のはたらきが正常でないこと。
379	S0004619	体位性めまい	体の位置や姿勢をかえると起こるめまい
380	S0004591	多動	とにかく落ち着き無く動き回り不機嫌になったりする状態
381	S0004588	多臓器障害	肝臓、腎臓、肺、胃腸、心臓など同時に複数の主要な臓器に障害が生じる危険な状態
382	S0004586	多食	食欲が異常に亢進して大量の食物を摂取する状態を続けなければ満足出来なくなる病的状態
383	S0004582	多幸	短い間続く強い幸福感とそれに伴う興奮
384	S0000755	多呼吸	呼吸数も呼吸の深さも多い状態で乳児の場合には胸がべこべこする呼吸になる状態
385	S0000933	多汗症	発汗が異常に増加し日常生活でこまるほどの状態
386	S0004538	掻痒	かゆみ
387	S0004498	鮮血便	鮮紅色の新鮮な血液がまじった便
388	S0004483	洗濯婦の手	脱水症状のために皮膚の弾力が失われ指先の皮膚にはしわが寄った状態
389	S0004480	尖足歩行	つま先立ち歩きのこと、立ったり歩く時も踵が床に着かない状態
390	S0004478	尖足	つま先立ちしか出来ない足で、踵を地面に着けようとしても着かない状態
391	S0000157	舌疼痛	舌の痛み
392	S0004470	舌振戦	舌が小刻みに震え続けること
393	S0004455	摂食障害	精神機能の異常で食事が行動が極端な食事制限や過度な量の食事摂取をする要になる状態
394	S0004454	摂食困難	食事をとることが困難な状態
395	S0004453	摂食行動異常	精神機能の異常で食事が行動が極端な食事制限や過度な量の食事摂取をする要になる状態
396	S0004448	赤沈亢進	赤血球沈降速度の略で、赤血球が検査用試管内を沈んでいく速度であり、体内に炎症が起きているときに数字が高くなる検査値が高いこと
397	S0001060	赤血球増加	血液中の赤血球の数が増加していること
398	S0000214	脊柱叩打痛	脊柱を叩くと激しい痛みを感じる
399	S0004409	静脈怒張	体表の青く見える血管である静脈を流れる血液が多く、静脈が通常より拡張し、血液がうっ滞して、普通より血管がはれあがって見える状態(怒ると顔の中央の静脈が浮き上がって見えることからこう言う)
400	S0004400	青色強膜	うまれつき白目全体が青っぽく見える状態で、病的には先天性遺伝性の病気で全身の骨の脆弱(ぜいじゃく)と難聴を伴うことがある
401	S0024396	声音振盪の異常	せいおんしんどうとは、手を背中にあてて声を出してもらって診察方法で、声を出している間に振動が手にどの程度伝わってくる程度の左右差を診るにより異常が見つかること
402	S0001495	髄液鼻漏	鼻の上部奥が頭蓋骨内とどこかで繋がって髄液が鼻のほうに流れてくる状態
403	S0004315	髄液耳漏	耳の奥が頭蓋骨内とどこかで繋がって髄液が耳のほうに流れてくる状態
404	S0001924	錐体外路症状	大脳皮質の運動を支配している領域から運動の指令を伝える神経路のうち主要な信号の通り道(錐体路)以外の通り道(錐体外路)に何らかの障害が生じることにより生じる症状の総称で筋肉緊張の場合とゆるむ場合があり、手足のふるえや身体のこわばり、歩行困難、じっとしていられなくなる、などの症状がある。

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
405	S0001601	睡眠発作	日中でも場所や状況に関係なく突然起きる強い眠気
406	S0004299	水疱	水ぶくれのことで、皮膚の下にサラサラとした水分がたまり半球状に隆起したイボ状あるいは広い面積でふくらんだ状態になる
407	S0001276	垂れ手	手首に力が入らなくなり、手首がだらんとたれてしまう状態
408	S0001922	腎不全症状	腎臓の機能がとおおきく低下し正常な尿がつかれない状態でおこるさまざまな症状の総称で、たとえば倦怠感、息切れ、むくみ、尿が減るなどが主要な症状
409	S0004236	身体化障害	身体表現性障害という精神疾患のひとつで、体の複数の部分に痛みがあり、吐き気や下痢などの胃腸症状、生理不順など、さまざまな身体症状が続くが、身体的な疾患や異常は生じていない状態
410	S0000243	神経痛	特定の手足や体幹の神経にそった部位に、発作性、反復性に生じる痛みで、針で刺されたような鋭い痛みや電気が走るような痛みのことが多く、その瞬間に顔をしかめるような痛みであり、不規則な間隔で繰り返し起こるが、1回の痛みが長時間は続かない痛み
411	S0004228	神経根障害	背骨と背骨の間の椎間孔という隙間から神経が出てくる部分でなんらかの障害をうけて痛みやしびれや筋肉などの麻痺などがおこるもの
412	S0000798	深部出血	体表からは簡単に見えないような体の深い場所や関節や筋肉の内部などで出血していること
413	S0012413	振戦	手や手指が意図しないのに小刻みに震える症状
414	S0004204	振戦	手足や顔などの筋肉の細かい震えで、筋肉の収縮と弛緩が高速頻回に繰り返された場合に起こる意図しないリズムカルな震えで止めようとしても意図的には止められないが自然に止まることもある
415	S0000547	心窩部膨満感	みぞおち(上腹部中央)の膨満した感じ
416	S0000293	心窩部痛	みぞおち(上腹部中央)の痛み
417	S0001142	心悸亢進	心臓の鼓動が増加して鼓動が気になる状態で動悸と同じ
418	S0001131	心肥大	心臓全体の大きさが通常よりも大きくなる状態
419	S0001912	心症状	こころの症状ではなく心臓から由来する様々な症状
420	S0001109	心原性ショック	心臓の機能の急激な低下のために正常な血液量を体全体に送り出せなくなり血圧が保てなくなり意識が低下し生命にとって危機的な状態
421	S0001101	心筋虚血	心臓が機能するために必要な血液が、冠状動脈を通じて心臓の筋肉に十分に供給されなくなっている状態
422	S0001100	心気傾向	常に自己の身体に注意が集中しやすく、身体的な些細な不調にも訴えが多くて完全になおないと気が済まない傾向にあること
423	S0001094	心タンポナーデ	心臓の回りを取り囲んでいる薄い袋のような心膜の内側である心のう内という場所に多量の液体または気体がたまり、心臓がうまく拡張できないために血液の拍出量が低下し、急激に血圧が下がり心臓への血液供給も減って突然の心停止を引きおこす危険な状態
424	S0000545	食道灼熱感	食道のあたりが焼けるような痛みのような感覚
425	S0000544	食道狭窄感	食道が狭くなって飲食物の通過しにくいように感じられる状態
426	S0024142	上腹部不定愁訴	検査では特に胃や食道に異常がみつからないのに、腹痛、胃のもたれ、吐き気、おう吐、食欲不振、腹部張り感などの上腹部のいろいろな症状がある状態
427	S0001899	消化器症状	胃腸のさまざまな症状、腹部の痛みやもたれ感、下痢や便秘など消化器系全般の症状の総称
428	S0000795	消化管出血	胃や腸から出血すること
429	S0011275	助産婦手	筋肉の痙攣などで手の指4本を固くそろえて伸ばした位置でこわばり、親指が内側に曲がって手首の関節や手掌部も内側にまがった手の状態
430	S0004048	書痙	字を書くことしたりま字を書いている途中で手が細かく振えたり痛みが生じる症状
431	S0010791	出血性ショック症状	出血により体の血液量が急激に減少し、生命維持に必要な血圧が保てなくなり、意識低下や血圧低下など生命の危機的な状態になることであり、他人の出血をみて気分が悪くなることではない。
432	S0000789	出血傾向	血液中の血液を凝固させたり傷口からの出血を止める機能が低下し、出血が止まりにくくなったり、わずかな刺激で出血しやすくなる状態
433	S0001836	重積状態	症状が連続して症状が起こって止まらない重症状態
434	S0000892	臭汗症	わきの下、陰部、耳の穴などのアポクリン腺から悪臭のある汗を分泌する病気で、わきがなどもこのひとつ。
435	S0004011	習慣性便秘	何回も便秘に逆らっているうちに、持続性の慢性的便秘になっている状態
436	S0003954	失声	ストレスや心のショックなどによる心因性の原因で声を出せなくなった状態
437	S0003951	失行	手足は動かすことには麻痺などもなく、意図した動きも理解はできているのになぜか行えないという症状
438	S0003950	失語	声も出せて聴覚にも障害がないのに言語として話せず、聴く、話す、読む、書く、という言葉のすべての分野のいずれかに障害が出て、話しにくくなるか、言語を理解しにくくなる状態
439	S0003949	失見当識	今いる場所、何月何日、何曜日であるのかなどの自分のおかれている状況などを認識できなくなった状態
440	S0003927	耳漏	耳垂れのことで耳の孔から分泌される分泌物の総称
441	S0000533	耳閉感	耳が詰まった感じがしたり、塞がった感じがする状態
442	S0003871	脂肪便	便に脂肪が混じる状態
443	S0001403	脂肪尿	尿に脂肪滴が混じる状態
444	S0003870	脂肪性下痢	脂肪がうまく分解吸収できずに便に脂肪が多量に混じるために大腸を刺激して下痢を起す状態
445	S0002088	脂肪肝	肝臓の組織内に脂肪細胞が増えて脂肪が溜まっている(極端になれば霜降りやフォアグラのような)状態
446	S0003864	紫斑	皮下の毛細血管などから出血などで紫や褐色の斑が出現した状態
447	S0003860	指趾虚血	血液供給不足による指趾の組織に酸素と栄養が減っている状態
448	S0003859	指趾壊疽	血液供給不足による指趾の組織が死んで黒くなっている状態
449	S0003858	指趾壊死	血液供給不足による指趾の組織が死んだ状態
450	S0003856	指端壊疽	血液供給不足による指先の組織が死んで黒くなっている状態
451	S0003833	四肢末端壊死	四肢の末梢側の血液供給不足による指の組織の死んだ状態
452	S0003832	四肢末端チアノーゼ	四肢の末梢側の酸素不足による青紫の皮膚色の状態
453	S0023831	四肢末梢浮腫	四肢の末梢側のむくみ
454	S0003823	四肢硬直	脳卒中や頸髄障害などで四肢の関節や筋肉が固い状態
455	S0003822	四肢固縮	脳卒中や頸髄障害などで四肢の関節や筋肉が固くなり一定の位置で動かない状態
456	S0000097	三叉神経痛	頭部や顔面の鋭く切られるような、あるいは電撃を受けるような痛み
457	S0001399	細菌尿	尿検査で細菌が見つかる状態
458	S0003774	砂粒状石灰化	レントゲン検査で組織が細かく石灰沈着した粒があるように見える所見
459	S0003772	左房負荷	心電図で心房の収縮で発生するP波という波形の幅が広めの検査所見
460	S0003771	左房肥大	心臓の左心房が普通より容量が大きくなっている状態
461	S0003766	左室肥大	心臓の左心室の容量が通常より大きくなっていること
462	S0003761	左軸偏位	心臓が少し左回転方向に傾いているかのような心電図波形になっていること
463	S0003760	左脚ブロック	心電図で心臓の収縮リズムを伝える心臓の伝達経路の左側部分に少し遅れる部分がある所見がみられること
464	S0000283	左季肋部痛	左の脇腹(肋骨の下部)の痛み
465	S0022747	混濁	意識の清明度の低下状態の総称で、ぼんやりとした状態
466	S0001880	昏迷	意識が無いように見えるが、ゆすったり触ったりする中程度の刺激に少し反応するがすぐに状態
467	S0021879	昏睡	なんの刺激にも反応せず意識がまったくない状態(眠ったように見える状態)
468	S0003753	骨棘形成	骨の一部がとげのように飛び出して出来ている状態
469	S0003751	骨膜炎	骨そのものではなく骨に密着して包んでいる骨膜の炎症
470	S0003735	骨髄抑制	血液を作り出す骨髄の機能が低下して正常な赤血球や白血球、血小板などが生産できない状態
471	S0011739	黒内障	片目の視力障害が急速に起こって、数分から数十分で回復するもので、しばらくのあいだ眼前が真っ暗になる状態
472	S0003711	合指症	生まれるつき手足の複数の指がくっついている状態
473	S00023701	高度の好中球減少	血液中の白血球のうち好中球という細胞が減少している状態
474	S0002224	高次機能障害	知的精神活動の複雑で高度な部分が障害された状態
475	S0002179	高血糖	血液中の糖分(血糖)が高い状態
476	S0003698	高血圧クリーゼ	急激に血圧が上がり全身の状態や腎機能が急激に悪くなる緊急状態
477	S0002205	高音性難聴	高音部分が聞き取りにくい難聴
478	S0003680	項部硬直	頸部後ろ側(うなじ)部分を前に曲げようとしても固くてまがらない髄膜炎などで見られる症状
479	S0012032	項部リンパ節腫脹	頸部後ろ側(うなじ)のリンパ節の腫れ
480	S0003668	硬膜外血腫	頭蓋骨の中で脳の外側にある硬膜という膜の外側(頭蓋骨との間)で出血してきた血液の固まり

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
481	S0003667	硬膜下血腫	頭蓋骨の中で脳の外側にある硬膜という膜の内側(脳との間)で出血してできた血液の固まり
482	S0003649	構音・構語障害	うまく発音や発語を組み立てて話せない状態
483	S0011268	拘縮	関節や筋肉が固まって動かないこと
484	S0003636	巧緻運動障害	手先などで細かい運動をすることがうまくいかない状態
485	S0003635	好中球遊走能低下	血液中の白血球のひとつ好中球の移動能力の増加
486	S0001052	好中球増加	血液中の白血球のひとつ好中球の数の増加
487	S0001049	好酸球増加	血液中の白血球のひとつ好酸球の数の増加
488	S0001719	好酸球性胸水	血液中の白血球のひとつ好酸球の数が多量な胸水
489	S0001292	好酸球減少	血液中の白血球のひとつ好酸球の数の減少
490	S0002047	喉頭違和感	喉頭(のどの喉仏あたりの位置)の違和感
491	S0003616	口腔粘膜浮腫	口腔の粘膜のむくみ
492	S0023603	口腔内癒着化	口腔内の粘膜の傷などが治って繊維状にひきつった場所がある状態
493	S0003604	口腔内びらん	口腔内がただれた状態
494	S0003592	口渇感欠如	口や喉が乾く感覚のないこと
495	S0000522	口渇感	口や喉が乾く感覚
496	S0000364	口角炎	上下の唇が左右で一緒になる角の部分の炎症
497	S0000754	口すぼめ呼吸	息を吸いこくので無意識で口をすぼめて呼吸をする状態
498	S0055564	光線過敏症型薬疹	日光にあたることで誘発される薬疹
499	S0003577	交互脈	大きい脈拍と小さい脈拍が交互に感じられる脈所見
500	S0003576	誤嚥性咳	誤って飲食物を気道のほうに吸い込んでしまうことで起こる肺炎
501	S0003575	誤嚥	誤って飲食物を気道のほうに吸い込んでしまうこと
502	S0000777	後出血	治療または分娩のあとにしばらくして出血すること
503	S0003568	後弓反張姿勢	うしろに反った状態
504	S0003667	後弓反張	うしろに反った状態
505	S0003567	鼓腸	腸管内に多量のガスがたまり腹部が膨隆した状態で、腹部を軽く叩くと太鼓を叩くような音がする状態
506	S0003566	鼓音	腸管内に多量のガスがたまり腹部が膨隆した状態で、腹部を軽く叩くと太鼓を叩くような音がする音のこと
507	S0003561	固定性瞳孔散大	瞳孔が開いていて大きさが変化しない状態
508	S0035563	固定疹型薬疹	いつも同じ場所に出現する薬疹
509	S0003560	固定疹	いつも同じ場所に出現する皮膚疹
510	S0003558	固縮	体の一部や全体が固まって動かない状態
511	S0000752	呼吸抑制	薬物や脳の障害などの原因で呼吸しようとする体の原動力が低下している状態
512	S0003556	呼吸促進	呼吸が頻回で苦しそうな状態
513	S0000726	呼吸性呼吸困難	呼吸を吐くときに苦しい呼吸
514	S0003543	呼吸時静脈怒張	呼吸に合わせて頸静脈が膨らんだり見えなくなったりする状態
515	S0003542	呼吸延長	呼吸のうち吐く時間が長い呼吸
516	S0003540	限局性疼痛	痛みの場所が一部の場所だけである状態
517	S0003539	限局性腹水	部分的に溜まっている腹水
518	S0025335	限局性浮腫	部分的にむくんでいる部位がある状態
519	S0003536	限局性気腫	空気がそれほど溜まらない場所に貯留している部位がある状態
520	S0003529	幻聴	あるはずのないものが聞こえること
521	S0003528	幻視	あるはずのないものが見えること
522	S0003527	幻覚錯乱	あるはずのないものを知覚することで錯乱すること
523	S0003526	幻覚	あるはずのないものを知覚すること
524	S0003522	原始反射	新生児期にした出ない反射反応
525	S0001398	顕微鏡的血尿	肉眼ではわからないが顕微鏡ではわかる血尿
526	S0003519	見当識障害	自分のいる時間や日付や季節や場所や状況などがわからなくなる意識障害
527	S0003513	犬吠様咳	犬がほえるような音の咳
528	S0023512	犬吠性咳	犬がほえるような音の咳
529	S0003510	健忘	一定期間の直近の過去のことを忘れる状態
530	S0003500	血痰	肉眼で見て痰に血液がまじる状態
531	S0003493	血便	肉眼で見て便に血液がまじる状態
532	S0001397	血尿	肉眼で見て尿に血液がまじる状態
533	S0022190	血沈亢進	血液検査で体内に炎症があるときに上昇する血沈検査値が上昇している状態
534	S0003490	血中ビルビン酸上昇	血液検査で血液中のビルビン酸の濃度が上昇している状態
535	S0003489	血中ビタミンB1値低下	血液検査で血液中のビタミンB1の濃度が低下している状態
536	S0021330	血中テストステロン低下	血液検査で血液中のテストステロン(男性ホルモン)の濃度が低下している状態
537	S0032605	血中テストステロン過剰	血液検査で血液中のテストステロン(男性ホルモン)の濃度が上昇している状態
538	S0003488	血中カルシウム高値	血液検査で血液中のカルシウムの濃度が上昇している状態
539	S0022136	血中TSH上昇	血液検査で血液中のTSH(甲状腺刺激ホルモン)というホルモンの濃度が上昇している状態
540	S0022152	血中LH上昇	血液検査で血液中のLHという酵素の濃度が上昇している状態
541	S0003487	血中HCG上昇	血液検査で血液中のHCGという女性ホルモンの濃度が上昇している状態
542	S0021329	血中FSH低下	血液検査で血液中のFSH(卵巣刺激ホルモン)というホルモンの濃度が低下している状態
543	S0003485	血栓形成	血管内で血液が固まって細い血管に栓として詰まるようなものが出る
544	S0003483	血清鉄上昇	血液検査で血液中の鉄の濃度が上昇している状態
545	S0010038	血清脂質異常	血液検査で血液中の脂質の濃度が異常(上昇)している状態
546	S0021046	血清クレアチン上昇	血液検査で血液中のクレアチンの濃度が上昇している状態
547	S0023496	血清LDL上昇	血液検査で血液中のLDLコレステロールの濃度が上昇している状態
548	S0022351	血清HDL低下	血液検査で血液中のHDLコレステロールの濃度が低下している状態
549	S0021045	血清CRP上昇	血液検査で血液中のC反応性蛋白の濃度が非上昇している状態
550	S0022322	血清CRP高度上昇	血液検査で血液中のC反応性蛋白の濃度が非常に上昇している状態
551	S0003481	血清ACE上昇	血液検査で血液中のアセチルコリンエステラーゼという酵素の濃度が上昇している状態
552	S0003479	血性腹水	腹部内臓の外側で腹壁の内側の隙間空間(腹腔)に溜まった水(腹水)に血液が混じっている状態
553	S0001490	血性鼻汁	鼻汁に血液が混じって居る状態
554	S0001718	血性胸水	肺の外側で胸郭の内側の隙間空間に溜まった水(胸水)に血液が混じっている状態
555	S0003477	血性下痢	血液のまじった下痢
556	S0001044	血小板増加	傷口などで血液を凝固させようとする機能のある血液中の血小板細胞の数の増加
557	S0003474	血小板数正常	傷口などで血液を凝固させようとする機能のある血液中の血小板細胞の数の正常
558	S0001290	血小板減少	傷口などで血液を凝固させようとする機能のある血液中の血小板細胞の数の減少
559	S0003470	血小板凝集能亢進	傷口などで血液を凝固させようとする機能のある血液中の血小板細胞が集まって固めようとする機能が働きすぎる状態
560	S0000036	血小板凝集異常	傷口などで血液を凝固させようとする機能のある血液中の血小板細胞が集まって固めようとする機能が低下していること
561	S0001717	血胸	肺の外側で胸郭の内側の隙間空間に血液が溜まること
562	S0003465	血管迷走神経性失神	体勢や周囲の変化に応じて瞬時に血管を収縮や拡張させたりして血圧を調整したりする自律神経系の機能がうまく働かず血圧が一時的に下がって意識を失う状態

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
563	S0003464	血管内溶血	血管内で赤血球が壊れて赤血球内に留まっているはずのヘモグロビンやカリウムなどの成分が血液中に出る状態
564	S0000234	血管痛	血管のそった痛み
565	S0000695	血管性浮腫	血管の自律神経による調整機能が障害されて四肢の皮膚にむくみや皮膚変化が出る状態
566	S0003463	血管神経性浮腫	血管の自律神経による調整機能が障害されて四肢の皮膚にむくみや皮膚変化が出る状態
567	S0000689	血管雑音	血管の拍動にあわせた雑音
568	S0003460	血管虚脱	出血などで血管内の血液量が減っている状態
569	S0000685	血管運動神経障害	体勢や周囲の変化に応じて瞬時に血管を収縮や拡張させたりして血圧を調整したりする自律神経系の機能が低下している状態
570	S0003458	血管運動機能障害	体勢や周囲の変化に応じて瞬時に血管を収縮や拡張させたりして血圧を調整したりする自律神経系の機能が低下している状態
571	S0003457	血液濃縮	血液検査で血液中の水分量が少なめで相対的に血液が濃くなったように検査結果が出る状態
572	S0003456	血液凝固障害	血液検査で血液を固める機能のある成分の機能が低下している状態
573	S0003441	結膜腫脹	白目の結膜部分が腫れて見える状態
574	S0003438	結滞	脈拍で一瞬リズムが狂う(1拍だけ抜けたり遅くなる)状態
575	S0003431	結節状陰影	レントゲンで丸い固い固まりがあるかのように見える所見
576	S0003427	欠脈	脈拍がときどき抜ける状態
577	S0003426	欠指症	指が生まれつき足りない状態
578	S0003418	劇症ざ瘡	はげしいきび
579	S0003415	鶏歩	鶏の歩き方のように小刻みに前後に揺れながら歩く状態
580	S0010584	頸部拍動感	頸部に拍動を感じるような状態
581	S0025784	頸部前屈	頸部が前に倒れている状態
582	S0010680	頸部上腕部浮腫	頸部から上腕部にかけてのむくみ
583	S0010679	頸部腫脹	頸部が腫れている状態
584	S0010678	頸部硬直	頸部が固くて動かせない状態
585	S0025782	頸部後屈	頸部が後ろにそって状態
586	S0010708	頸部血管雑音	頸部の聴診器をあてると血管のなかを血液が流れる雑音のような音が拍動に合わせて聞こえる状態
587	S0025786	頸動脈怒張	頸動脈が普通よりふくれて目立つ状態
588	S0010677	頸静脈拡張	頸静脈が普通よりふくれて目立つ状態
589	S0003402	傾眠	意識が少し低下して外見的にはうとうとうしているように見える意識低下状態
590	S0000518	空気飢餓感	普通に呼吸しているのに息が吸えていないように感じる感覚
591	S0003397	空咳	たんのからまない乾燥した感じの咳
592	S0010724	苦扁桃臭	にがいアーモンドのような臭い
593	S0003395	金属味	なにかを口にに入れて味わうと金属をなめているような味を感じる味覚の異常
594	S0002147	菌血症	血液検査で血液中に細菌が見つかる状態で全身的な症状が出ていない状態
595	S0003374	筋膜炎	筋肉のまわりを薄くつづんでいる膜の炎症
596	S0010650	筋線維性攣縮	筋肉の細かい線維がチリチリと細かく震えている状態
597	S0000647	筋性防御	腹部を触ろうとすると腹部を覆う腹筋などが反射的に固くなって腹部を触らせまいとして防御しているかのように感じられる異常な状態
598	S0000644	筋硬直	筋肉があまり使われないために関節のまわりの筋肉が固く動かしにくくなる状態
599	S0000643	筋拘縮	筋肉があまり使われないために関節のまわりの筋肉が固く動かしにくくなる状態
600	S0000641	筋原性変化	筋肉の細胞そのものを変化
601	S0000640	筋緊張亢進	通常よりも筋肉が必要十分な程度以上に収縮しやすい状態
602	S0003369	筋緊張低下	通常よりも筋肉が必要十分な収縮状態にならない状態
603	S0000639	筋緊張異常	通常よりも筋肉が収縮状態になりにくい状態
604	S0000638	筋緊張	通常よりも筋肉が収縮状態になりやすい状態
605	S0023330	筋強直発作	筋肉を収縮させる神経からの信号が連続するために筋肉が収縮し続けて固くなっている状態が発作的に突然起こる状態
606	S0021596	筋強直間代発作	筋肉を収縮させる神経からの信号が連続するために筋肉が収縮し続けて固くなっている状態が一定時間つづいて消失することを繰り返す状態
607	S0000637	筋強直	筋肉を収縮させる神経からの信号が連続するために筋肉が収縮し続けて固くなっている状態
608	S0003366	筋壊死	筋肉に血液が十分に届かずに筋肉の一部が死んだようになっている状態
609	S0021243	局所性神経微候	特定の局所的な神経系統や神経経路上の障害で説明がつくような神経や筋肉の症状
610	S0003359	局所神経脱落症状	特定の局所的な神経系統や神経経路上の障害で説明がつくような神経や筋肉の症状
611	S0001242	局在性神経微候	特定の神経系統や神経経路上の障害で説明がつくような神経や筋肉の症状
612	S0001863	局在神経症状	特定の神経系統や神経経路上の障害で説明がつくような神経や筋肉の症状
613	S0021862	凝固亢進状	血液検査で血液を凝固させる成分の働きが上昇し固まりやすくなる状態
614	S0003354	凝固能低下	血液検査で血液を凝固させる成分の働きが低下している状態
615	S0003353	凝固障害	血液検査で血液を凝固させる成分の働きが低下している状態
616	S0003352	凝固時間延長	血液検査で血液を凝固させる成分の働きが低下して凝固に時間が普通よりかかる状態
617	S0001716	胸膜摩擦音	呼吸運動にもなって胸部の中でなにか擦れ合うような音が聴診器で聞こえる状態
618	S0003347	胸膜性胸痛	呼吸運動にもなって胸部の中でなにか擦れ合うような痛み
619	S0001711	胸部不快感	胸部のなんともなく不快な感じ
620	S0001710	胸部重圧感	胸部の痛みのような重い重しを載せられているような圧迫感のような感じ
621	S0005841	胸部絞扼感	胸部の痛みのような圧迫感のような締め付けられるような激しく苦しい状態
622	S0001709	胸部圧迫感	胸部の痛みのような圧迫感のような感じ
623	S0001707	胸部つかえ感	胸部の圧迫感のような、あるいは食道に何かがつまって胃に降りて行かないような感じで
624	S0001706	胸内苦悶感	胸部の痛みのような圧迫感のような感じで苦しい状態
625	S0003342	胸腺腫瘍	胸部中央部分の胸奥深く左右の肺の間部分にある胸腺にできた腫瘍のような瘤
626	S0003341	胸水	肺の外側で胸郭の内側の隙間空間に水分が溜まること
627	S0001701	胸鎖乳突筋萎縮	鎖骨から前頸部を経て耳の下へ繋がる筋肉の萎縮
628	S0000103	胸骨叩打痛	前胸部中央部分の胸板部分を軽く叩くと痛みを感じる
629	S0000101	胸骨後部痛	前胸部中央部分の胸板の奥あたりの痛み
630	S0003338	狭心症様発作	前胸部が圧迫されるような痛みを感じるような発作
631	S0001857	恐水症状	水そのものが怖いと感じる精神感覚
632	S0000861	恐食症	食べることが怖いと感じる精神感覚
633	S0003331	強迫観念	何かに追い立てられるような、あるいは自分が何かをし忘れていると引っかけがあるような精神感覚
634	S0002610	強直性痙攣	全身の筋肉が突っ張ったような状態で痙攣すること
635	S0003310	虚血性変化	臓器に十分に血液が供給されていないためにその臓器の機能が障害されている検査異常がある状態(普通は心電図で心臓の状態を指す)
636	S0003296	巨舌	舌が通常より大きく口のなかに収まりにくい状態
637	S0003294	巨赤芽球性変化	血液検査で赤血球の発育前の細胞が多く、働きのある赤血球が少ない状態
638	S0003293	巨赤芽球性貧血	血液検査で赤血球の発育前の細胞が多く、働きのある赤血球が少ないための貧血
639	S0000855	急性腹症	急激に腹部の一部または全体が激しく痛みが続き救急車を呼びたくなるほどの状態
640	S0003280	急性排尿障害	急に排尿ができないあるいは排尿困難を感じる状態
641	S0003271	弓なり緊張	背を後ろにそらせるように弓なりになって体全体がつっぱる状態
642	S0003268	吸収不良	食事をしているのに食物から十分に栄養をとれていない状態
643	S0003265	丘疹	皮膚の上に数ミリの丘状の盛り上がりのあるできもの(皮疹)
644	S0000512	逆流感	胃液が逆流してくるような感じがあること

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
645	S0003262	逆行性射精	射精時に精液が膀胱のほうに逆流すること
646	S0003261	逆行性健忘	過去に遡って一定期間の記憶がなくなること
647	S0003259	吃逆	しゃっくり
648	S0001319	起立性低血圧	立ち上がろうとするとめまい(くらくらふらつくなど)を感じる
649	S0003249	起立性失神	立ち上がろうとした瞬間に意識を失う
650	S0003248	起立性めまい	立ち上がろうとするとめまい(くらくらふらつく、または回転を感じるなど)を感じる
651	S0000722	起坐呼吸	寝ていると呼吸が苦しく座った体勢で呼吸をすると楽になる状態
652	S0002238	季節性頭痛	右または左の側頭部(肋骨の下縁にそった上腹部)の痛み
653	S0003225	気道反応性亢進	気道がちよっとしたこと過敏に異物を感じて咳込むなどの症状が出る
654	S0001854	気道狭窄症状	気道が狭くなって呼吸がしにく状態
655	S0003223	気道過敏	気道がちよっとしたこと過敏に異物を感じて咳込むなどの症状が出る
656	S0001697	気胸	肺の外側で胸郭の内側の隙間空間に空気が溜まること
657	S0003221	気管食道瘻	肺に空気が行き来する気管と食物が通る食道との間にパイパスができること
658	S0003208	機能性甲状腺結節	前頸部にある甲状腺のなかに部分的に細胞が密集した結節と呼ばれるこりこりした部分が出来、そこからホルモンが分泌されること
659	S0003206	期外収縮	心電図で通常のリズムでの心臓の拍動とは別のタイミングで心臓が収縮する波形が出る
660	S0003205	既視感	今見ている情景や経験していることが、過去にも見たり経験したりしているという感覚が強くなること
661	S0003204	希発月経	通常の月経リズムと違い稀にしか月経がないこと
662	S0003203	希死念慮	死ぬ事を望むような思いがあること
663	S0003202	奇脈	血液検査で赤血球を顕微鏡で見ると通常の丸い形とは異なる形の赤血球が見られること
664	S0000720	奇異呼吸	通常の呼吸リズムとは異なるリズムでの呼吸
665	S0003197	器質的脳症候群	脳のどこかに腫瘍や出血など明らかな異常部位があるためにそれが原因で精神上の通常でない症状があること
666	S0001851	器質的精神症状	脳のどこかに腫瘍や出血など明らかな異常部位があるためにそれが原因で精神上の通常でない症状があること
667	S0003195	企図振戦	なにかを意図をもって手先でしようとするとき手先が小刻みに震えてうまくできにくいこと
668	S0003193	顔面浮腫	顔がむくんでいること
669	S0003178	顔面チアノーゼ	顔色が血色不良で青紫っぽく唇も青いこと
670	S0000093	眼高部痛	目玉の部分かその奥のほうの痛み
671	S0001796	眼高周囲腫脹	目玉の周囲が腫れること
672	S0003175	眼高後部痛	目玉の奥のほうの痛み
673	S0003174	眼瞼痙攣	まぶたがびくびく痙攣すること
674	S0001795	眼瞼浮腫	まぶたが腫れたようにむくむこと
675	S0001794	眼瞼腫脹	まぶたが腫れること
676	S0001793	眼瞼結膜蒼白	白目部分の結膜が青白いこと
677	S0001792	眼瞼結膜充血	白目部分の結膜が充血すること
678	S00021791	眼瞼結膜異常	白目部分の結膜の異常
679	S0001790	眼瞼下垂	まぶたが垂れ下がって黒目にかかること
680	S0001789	眼瞼黄色由腫	白目部分の結膜に黄色い小さな点状のものができること
681	S0001788	眼瞼黄色腫	白目部分の結膜に黄色い小さな点状のものができること
682	S0001787	眼裂狭小	目の開き加減が狭いこと
683	S0001786	眼裂開大	目の開き加減が大きいこと
684	S0011783	眼部血管雑音	目の近くで(聴診器をあてると)血液が流れるような拍動性の音が聞こえること
685	S0003169	眼底浮腫	眼底を検査で見ると網膜がむくんで見えること
686	S0001777	眼底所見	眼底を検査で見たときの所見
687	S0001776	眼底出血	眼底を検査で見ると網膜に出血が見られること
688	S0001774	眼前混濁	見ている前がかすんでいるように見えること
689	S0001773	眼前暗黒	見ている前が突然暗黒状態になること
690	S0003167	眼振様眼球運動	無意識で眼球が左右あるいは上下に振動していること
691	S0001770	眼振	無意識で眼球が左右あるいは上下に振動していること
692	S0001766	眼脂	目やに
693	S00031754	眼球下方偏視	眼球が無意識でいると下方に傾いていること
694	S0011819	眼間接近	左右両目の中心距離が通常より接近していること
695	S0001749	眼間開離	左右両目の中心距離が通常より開いていること
696	S0003158	眼間解離	左右両目の中心距離が通常より開いていること
697	S0003156	眼圧上昇	眼球のなかの圧力が高いこと
698	S0002204	眼圧高値	眼球のなかの圧力が高いこと
699	S0001696	癌性胸水	がんの浸潤や連鎖反応などにより肺や心臓の外側で胸の内側の隙間部分に水がたまること
700	S0003145	丸薬まるめ運動	手指で丸薬をまるめるかのような指の運動を無意識でする傾向があること
701	S0003144	関節裂隙狭小化	レントゲンをとると関節の隙間が通常よりも狭くなっている所見
702	S0000511	関節熱感	関節部分が熱い感じを感じる
703	S0001848	関節症状	関節の痛みや腫れなどの症状
704	S0003137	関節腫脹	関節が腫れぼたくなる状態
705	S0003135	関節拘縮	関節の両側の筋肉がこばり関節自体が動かさない状態
706	S0003134	関節強直	関節の両側の筋肉がこばり関節が動かない状態
707	S0001847	関節外症状	関節以外の別の身体症状
708	S0003132	関節可動域制限	関節が本来動ける範囲まで動かない状態
709	S0003130	関節液貯留	関節が腫れぼたくなり関節の隙間に水が溜まる状態
710	S0003122	間代性痙攣	周期的に痙攣状態とそうでない状態が繰り返されるような痙攣
711	S0003120	間接ビリルビン上昇	肝臓で生成する胆汁成分であるビリルビンの一種(直接ビリルビンと間接ビリルビンがある)で血液中の濃度が高くなること
712	S0000280	間欠的腹部痙攣発作	腹部に射し込むような痛みが周期的にとどきあること
713	S0003116	間欠性跛行	短距離歩くと下肢の両方に痛みを感じて歩けなくなり、しばらく休むと再び歩けるが、また痛くなって歩けなくなり休むということを繰り返す状態
714	S0010156	間欠性舌疼痛	舌がときどき周期的に痛むこと
715	S0000095	間欠性下顎痛	下あご部分がときどき周期的に痛むこと
716	S0002083	肝脾腫大	肝臓と脾臓の両方が通常より体積が大きくなっている状態
717	S0000206	肝部圧痛	肝臓の部分に相当する右上腹部を押すと痛みがあること
718	S0002081	肝不全	肝臓の機能が低下して体が必要とする機能がうごいていない状態
719	S0002080	肝腫瘍	肝臓の中の一部分に腫瘍の固まりがある状態
720	S0002078	肝内結石	肝臓の中の胆汁を生産し排出する細い管の中に胆汁成分が結晶化して小さな石のような固まりになってたまっている状態
721	S0002076	肝線維化	肝臓内の本来の細胞以外のスジを作ったりする線維細胞が増えて全体として堅くなっている状態
722	S0002075	肝性脳症	肝臓の機能が十分でないために血液中のアミノ酸などが増えて意識がなくなったり精神状態がおかしくなること
723	S0002072	肝性昏睡	肝臓の機能が十分でないために血液中のアミノ酸などが増えて意識がなくなること
724	S0002074	肝性口臭	肝臓の機能が十分でないためにアミノ酸臭のような臭いが口臭ですること
725	S0002073	肝腎障害	肝臓と腎臓の両方が機能不全に陥っている状態
726	S0001017	肝腎症候群	肝臓と腎臓の両方が機能不全に陥っている状態
727	S0002069	肝腫大	肝臓全体が腫れて体積が増えている状態

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
728	S0023773	肝を葉脾大	肝臓を構成する部分のうち左半分の部分の部分が通常よりも大きくなっている状態
729	S0002061	肝萎縮	肝臓が全体として細胞が減って体積が減少している状態
730	S0002060	肝うっ血	肝臓から血液が出て行く流れが弱いため肝臓全体に血液がよどんでいる状態
731	S0003097	緩徐歩行	歩行の仕方がゆっくりでしか歩行できないこと
732	S0000504	感音性難聴	内耳の音を感じる部分またはそれより脳のほうの障害で難聴があること
733	S0003077	完全房室ブロック	心電図で本来は心臓上部の心房からの収縮リズムを心室に伝達する経路が途切れていて心室は勝手に自分のリズムで収縮している所見
734	S0002058	完全胆管閉塞	肝臓で産生された胆汁を肝臓の外に送り出し十二指腸に流す胆管という管のどこかで詰まっていて流れない状態
735	S0023076	完全心ブロック	心電図で本来は心臓上部の心房からの収縮リズムを心室に伝達する経路が途切れていて心室は勝手に自分のリズムで収縮している所見
736	S00023069	乾燥咳	たんが絡まない乾いたような咳
737	S0003065	乾性咳	たんが絡まない乾いたような咳
738	S0003064	乾性う音	聴診器で呼吸の音を聴いたときに通常は聞こえない乾い高い音が聞こえること
739	S0003035	覚醒	意識が覚めている状態
740	S0003022	外反母趾	足の親趾が他の趾の向きよりも外側に傾いている状態
741	S0003020	外反肘	肘関節の部分は外側に曲がっている状態
742	S0003019	外反膝	O脚のように膝部分が外側に曲がっている状態
743	S0003010	開口障害	口を開こうとしても十分に開けない状態
744	S0003004	壊疽	四肢の指先などの組織の一部が血液が来なくて死んで黒くなった状態
745	S0003000	壊死	組織の一部が血液が来なくて死んだ状態
746	S0002997	回転めまい	自分が回転しているかのようにめまいを感じる
747	S0002996	解離性知覚障害	熱や痛みは感じるのに触る感覚が感じない、あるいはその逆
748	S0000589	解離性感覚障害	熱や痛みは感じるのに触る感覚が感じない、あるいはその逆
749	S0000162	会陰部痛	肛門と排尿出口の間の部分あたりが痛むこと
750	S0002992	過眠症	睡眠時間が長過ぎる傾向が続くこと
751	S0002988	過伸展開節	四肢の関節が通常の動かせる範囲以上に動かせること
752	S0002987	過食	食べ過ぎる傾向
753	S0000719	過呼吸	興奮して呼吸が浅くなる状態
754	S0002985	過換気	興奮して呼吸が浅くなる状態
755	S0002983	寡動	あまり動こうとしないこと
756	S0002982	可動域制限	四肢の関節の動かせる範囲に制限があること
757	S0002981	加速歩行	歩いてるとだんだん速くなっていく歩き方
758	S0002980	仮面様顔貌	無表情な顔つき
759	S0022970	下方注視麻痺	下のほうの1カ所を両目で見ようとするとうまく見れないこと
760	S0002971	下方視制限	下のほうを両目で見ようとするとうまく見れないこと
761	S0002969	下方共同偏視	下のほうを両目で見ようとすると視線が左右のどちらかに傾いてしまうこと
762	S0002968	下腹部疝痛	下腹部に刺し込むような強い痛みを感じる
763	S0002967	下腹部膨隆	下腹部が中から腫れて大きくなっている感じのこと
764	S0002965	下腿浮腫	下肢のすねの部分の皮膚がむくむこと
765	S0002963	下腿潰瘍	下肢のすねの部分の皮膚に潰瘍ができること
766	S002961	下腿けいれん	下肢のすねの部分が痙攣すること
767	S0002959	下垂体前葉機能低下	脳の中央底部深部にある種々のホルモンを出す下垂体という部分の前部分の機能が低下していること
768	S0002957	下垂体腫瘍	脳の中央底部深部にある種々のホルモンを出す下垂体という部分にホルモンを出す性質をもった腫瘍ができること
769	S0002955	下垂体機能低下	脳の中央底部深部にある種々のホルモンを出す下垂体という部分のホルモン機能が低下すること
770	S0000033	下垂体異常	脳の中央底部深部にある種々のホルモンを出す下垂体という部分に異常があること
771	S0032954	下垂体GH細胞過形成	脳の中央底部深部にある種々のホルモンを出す下垂体という部分に成長ホルモンを分泌する細胞が多すぎる
772	S0002953	下垂足	足首部分でだらりと足が下垂すること
773	S0001624	下肢両側一過性麻痺	下肢の左右両側同時に一時的に短時間だけ麻痺があること
774	S0010167	下肢無痛性火傷	下肢にやけどをしているのに痛みを感じないこと
775	S0002947	下肢病的反射	下肢で通常はみられない腱反射(医療用のハンマーで軽く叩いてみる反射的な動き)が見られること
776	S0001318	下肢低血圧	上肢ではかかるより下肢ではかかる血圧のほうが低いこと
777	S0002945	下肢知覚障害	下肢の触る感覚や熱い冷たい痛いといった感覚が感じにくいこと
778	S0005833	下肢脱力感	下肢に力がはりにくいこと
779	S0002943	下肢脱力	下肢に力がはりにくいこと
780	S0002939	下肢静止不能	下肢をじっとしてられないこと
781	S0002938	下肢振動覚低下	下肢にブーンという振動を与えてもあまり感じないこと
782	S0002937	下肢紫斑	下肢の皮膚に紫や茶褐色の出血のあとのようなしみのような皮膚色の部分が見れること
783	S0002936	下肢近位筋力低下	下肢の体に近い側(ふとももなど)に筋力の低下を感じる
784	S0022808	下肢一側感覚障害	下肢の左右片側に一時的に短時間だけ感覚を感じにくくなる状態があること
785	S0001623	下肢一側一過性麻痺	下肢の左右片側に一時的に短時間だけ麻痺があること
786	S0000500	下肢易疲労感	下肢がすぐにくたびれて疲れを感じる
787	S0032236	下肢の無痛性皮膚潰瘍	下肢に潰瘍があるのに痛みを感じないこと
788	S0022931	下肢の無痛性熱傷	下肢にやけどをしているのに痛みを感じないこと
789	S0002927	下血	肛門から血液が出る、あるいは便ではなく血液状のものが出る
790	S0002925	下顎部腫瘍	下あご部分にぐりぐりとした瘤のようなものがあること
791	S0002919	音過敏	聞こえる音に過敏に聞こえること
792	S0002918	温痛覚低下	熱さや冷たさの感覚と痛みの感覚の両方が感じにくくなること
793	S0022994	温痛覚脱着	熱さや冷たさの感覚と痛みの感覚の両方が失われること
794	S0000227	温痛覚障害	熱さや冷たさの感覚と痛みの感覚の両方が障害されること
795	S0002911	黄疸	全身の皮膚の色や白目部分の色が黄色っぽくみえること
796	S0002902	横隔膜平度化	レントゲンをとると胸部と腹部の間を仕切る横隔膜のドーム状の程度が通常より平坦に見えること
797	S0002901	横隔膜挙上	レントゲンをとると胸部と腹部の間を仕切る横隔膜の位置が普通より高く、胸部側に上がっているように見えること
798	S0002893	鉛管現象	レントゲンをとると食道や腸が鉛の管のように棒に見えること
799	S0001392	円柱尿	尿を遠心分離機で遠心して液体以外の成分を洗って顕微鏡でみると円柱状に見えるものがあること
800	S0002880	運動不耐性	あまり動こうとしない状態
801	S0002868	運動失調	運動しようとしても体全体のつじつまがうまく合わずにうまく運動や歩行ができない状態
802	S0002867	運動失語	しゃべろうとしてもうまく舌や喉が動かなくてしゃべれない状態
803	S0005806	羽ばたき振戦	両手を前にだすと意識していないのに両手をばたばた羽ばたきのようなゆっくりした動きがみられること
804	S0000499	右上腹部膨満感	右の上腹部に腫れぼったい満腹のような症状があること
805	S0002849	右室隆起	心臓の右心室の一部が隆起していること
806	S0002848	右室流出路狭窄	心臓の右心室から肺に向かう血液の流れの部分が一部狭くなっていること
807	S0002845	右室肥大	心臓の右心室が通常より大きくなっていること
808	S0002843	右軸偏位	心臓が少し右回転方向に傾いているかのような心電図波形になっていること
809	S0022842	右左シャント	心臓の右心房・右心室の血液が肺に行かず一部が直接左心室側に流れ込むルートがあること
810	S0002841	右胸水	心臓や肺の外側に胸郭の内側の隙間部分の右側部分に水がたまること

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
811	S0002839	右胸ブロック	心電図で心臓の収縮リズムを伝える心臓の伝達経路の右側部分に少し遅れる部分がある所見がみられること
812	S0000271	右季肋部痛	右のみぞおち部分に痛みがあること
813	S0015830	右季肋部重圧感	右のみぞおち部分に押しと重い痛みがあること
814	S0000270	右季肋部圧痛	右のみぞおち部分に押しと痛みがあること
815	S0002833	陰性T波	心電図で心室の収縮が終る時期に見られる上に山がたのT波と呼ばれる波形が逆に下向きになっていること
816	S0002823	咽頭浮腫	のど(口腔内)の粘膜が腫れぼったくむくみがあること
817	S0012042	咽頭粘膜偽膜性病変	のど(口腔内)の粘膜に白くカサタのようなものがへばりつく箇所があること
818	S0002822	咽頭粘膜の白色偽膜性病変	のど(口腔内)の粘膜に白くカサタのようなものがへばりつく箇所があること
819	S0012820	咽頭痛・腫張	のど(口腔内)に痛みと腫れを感じる
820	S0000151	咽頭痛	のど(口腔内)に痛みを感じる
821	S0005828	咽頭掻痒感	のど(口腔内)に痒みを感じる
822	S0005826	咽頭違和感	のど(口腔内)になにかしらいつもと違う状態を感じる
823	S0002038	咽頭ひらん	のど(口腔内)の粘膜がただれること
824	S0022817	咽頭の発赤と腫脹	のど(口腔内)に赤く腫れがあること
825	S0002816	咽頭の発赤	のど(口腔内)が赤くなること
826	S0002814	咽頭の腫脹	のど(口腔内)に腫れがあること
827	S0002812	咽頭痛	のど(口腔内)に痛みを感じる
828	S0022811	咽頭掻痒	のど(口腔内)に痒みを感じる
829	S0021391	溢流性尿失禁	あふれ漏れだすように尿漏れがあること
830	S0022804	一側性視野・視力障害	左右のどちらか片側だけ、視力が低下または消失すること
831	S0025408	一側性一過性視力低下・消失	左右のどちらか片側だけ、一時的に短期間だけ視力が低下または消失すること
832	S0000588	一側下肢感覚障害	左右のどちらか片側だけ、下肢の感覚に麻痺があること
833	S0002807	一側下肢の運動障害	左右のどちらか片側だけ、下肢の運動に障害があること
834	S0021002	一眼水平注視麻痺症候群	左右のどちらか片側だけ、水平方向に目を動かして一点を見ようとするとうまく見る事ができないこと
835	S0001618	一過性片麻痺	一時的に短期間だけ体の左半身か右半身だけが麻痺すること
836	S0021528	一過性浮腫	一時的に短期間だけむくみがあること
837	S0031842	一過性脳虚血発作症状	一時的に短期間だけ意識が不鮮明になったり手足が麻痺したりする症状があること
838	S0021611	一過性脳虚血症状	一時的に短期間だけ意識が不鮮明になったり手足が麻痺したりする症状があること
839	S0002203	一過性高音域感音性難聴	いつまでも続くのではなく一時的に短期間だけおこること
840	S0001390	遺尿症	寝ている間に尿をもらす(おねしょ)症状があること
841	S0002780	移動性のある多関節炎	ある関節が炎症を起して痛むと、次にはそれは治まると別の関節が炎症を起すといったように次々に炎症を起す関節が移動していくかのように感じるような状態
842	S0000835	異食症	普通は口にいで食べないものを食べようとする
843	S0000027	異常Q波	心電図で心臓の心室が収縮するリズムの最初のタイミングで、通常はみられない小さな波形Q波が見られること
844	S0000026	異常P波	心電図で心臓の収縮リズムの最初のタイミングで現れる小さな波形P波が異常であること
845	S0002772	異所性石灰化	レントゲン検査で普通はみられないよう場所に組織の石灰化(組織のカルシウム成分が点状に固まった状態)があること
846	S0005824	易疲労感	すぐに疲労を感じるような状態
847	S0002761	易血栓性	血栓ができやすくなっている状態
848	S0002760	易興奮性	すぐにちょっとしたことで興奮、イライラしやすくなっている状態
849	S0000618	易感染性	普通なら感染しないような弱い病原体(細菌やウイルスなどの感染源)に感染しやすくなっている状態
850	S0000225	安静時疼痛	安静にしているときに感じる痛み
851	S0002742	安静時頻拍	安静にしているときの脈拍数
852	S0002741	安静時振戦	安静にしているのに意図せず、手手指が小刻みにブルブルと震える状態
853	S0000712	安静時呼吸困難	安静にしているでも呼吸が苦しいこと
854	S0001839	圧迫症状	なにかに圧迫されているように感じる状態
855	S0000490	圧迫感	なにかに圧迫されているように感じる状態
856	S0000223	圧痛	体のある場所をゆっくり押すとその下の部位に痛みをじわーと感じること
857	S0002731	悪心嘔吐	吐き気を感じ、嘔吐する状態
858	S0002727	悪心	吐き気を感じる状態
859	S0002724	悪寒戦慄	高熱が出る前に体ががたがた震え激しい寒気に襲われる状態
860	S0002720	悪液質	がんなどの病気のために全身の栄養状態が悪化し精気を感じられないほどの病的印象をうける全身状態
861	S0011262	レイノー症状	冷たい水に手をつけたときに、その手が白紫になるほど血流が減ったような色と冷感状態になること
862	S0002710	るいそう	極端にやせ細った状態
863	S0002696	ラ音	聴診器で呼吸音を聴いたときに普通は聞こえない高温のラのような音が聞こえる状態
864	S0002685	メレナ	便中に血液が混じり血便のようなドロ状態になった便がでること
865	S0002680	ミオパチー	筋肉の炎症
866	S0001386	ヘモジドリン尿	赤血球中の酸素運搬を司るヘモグロビンに含まれる鉄分が変化したヘモジドリンという成分が尿に出ている(普通は出ない)状態
867	S0001384	ヘモグロビン尿	赤血球中の酸素運搬を司るヘモグロビンという成分が尿に出ている(普通は出ない)状態
868	S0002142	ヘモグロビン血症	赤血球中の酸素運搬を司るヘモグロビンという成分が血液中で普通より多い状態
869	S0022261	ブロック	心臓の収縮が心臓の上のほうから全体に伝わる経路で、経度の遅れのある部分があること
870	S0022141	ブラスミン-A2PI複合体上昇	血液中の血液を凝固させるのに必要な成分(フィブリノーゲン)が血液中で減少していること
871	S0001381	ブドウ酒色尿	赤ワインのような色の尿が出ること
872	S0002651	ブドウ酒状母斑	赤ワインのような色のアザがある状態
873	S0021283	フィブリノーゲン低下	血液中の血液を凝固させるのに必要な成分(フィブリノーゲン)が血液中で減少していること
874	S0002649	ひらん	じゅくじゅくした、タダれたような表面になること
875	S0025620	びまん性肺陰影	レントゲン写真上でどことなく全体的にぼわっと陰があること
876	S0002644	びまん性陰影	レントゲン写真上でどことなく全体的にぼわっと陰があること
877	S0022640	ビタミンB1低下	血液中のビタミンB1の濃度が低下していること
878	S0022638	ビタミンB12低下	血液中のビタミンB12の濃度が低下していること
879	S0002635	パレステジー	末梢の感覚神経が敏感になり手足や皮膚がピリピリしたりムズムズしたりしたしびれ感を感じる
880	S0005811	バラ疹	鮮紅色の小さな斑点が皮膚に出現するもので、梅毒という性病の典型的な症状
881	S0002625	ばち指	手の指先が太鼓のばちのようにふくらんだ指にみえること
882	S0001837	パーキンソン症状	パーキンソン病と似た症状がみられること
883	S0021004	パーキンソン症候群	パーキンソン病と似た症状がみられ状態
884	S0022411	パーキンソン症候	パーキンソン病と似た症状がみられること
885	S0001013	ネフローゼ症候群	腎臓の機能が一部低下して血液中のタンパク質が大量に尿に出てしまう状態
886	S0002618	ニューロパチー	神経炎
887	S0000025	ナトリウム異常	血液中のナトリウム(Na)が正常値でないこと
888	S0022140	トロンビン-A1III複合体上昇	血液を凝固させる成分同士がくっついた成分が増えて、体のどこかで血液を凝固させようとしている反応が起こっている状態
889	S0001042	トルコ鞍狭小化	頭のレントゲン写真で下垂体はまり込んでいるトルコ鞍という部分が狭くなって見えること
890	S0002608	テネスマス	しぶり腹のような状態＝腸がしぼられるような下腹部が痛みとともに排便したい感じがあるが、排便する内容がなく辛い状態が続くこと
891	S0002604	ディスペプシア	胃や腸に目立った異常が見つからないのに消化不良のように胃もたれする状態
892	S0002602	チック	口の周辺や頬や顔の表面の筋肉がピクピク意図せずに痙攣するような状態

	A	B	C
1	管理ID	症状所見用語	一般向け説明表現
893	S0012600	チェックパルブ現象	息を吸おうとしたときに胸の傷口から空気が中に入るためにうまく呼吸ができず息を吐こうとしても出て行かない一方通行で空気が胸の傷口から入ってしまうために呼吸が苦しくなる状態
894	S0020711	チェーンストークス呼吸	息を吸おうとすると胸の下方がへこむような感じでうまく息が吸えていない呼吸
895	S0002598	チアノーゼ	酸素が十分に取込みできていないために、指、指の爪、唇などの血色が悪く薄紫に見えるような状態
896	S0002596	タール便	ねっとり黒くドロツとした(コルタル状の)便が出る状態
897	S0002595	そばかす	小さな茶褐色の斑点が頬などの顔面にちらばる状態
898	S0011257	ソーセージ様手指腫脹	手の指はソーセージのようにくびれがなく赤く膨らんだ状態が続く状態
899	S0002586	すくみ歩行	歩こうとして一歩踏み出そうとするがなかなか出さずに歩かずにくさくさとした歩行
900	S0001527	じんま疹様皮膚	体の一部またはあちこちに赤い広範囲にまだらな少し膨らんだ皮膚が地図状に出て、多くの場合強い痒みを伴う状態は急激に出現して数時間から数日続く状態
901	S0035562	じんま疹薬疹	体の一部またはあちこちに赤い広範囲にまだらな少し膨らんだ皮膚が地図状に出て、多くの場合強い痒みを伴う状態は急激に出現して数時間から数日続く状態
902	S0001831	ショック症状	精神的なことではなく、循環状態(血圧、呼吸状態、意識など)が急速に低下し、生命の危機的状態になること
903	S0002576	しぶり腹	腸がぼられるような下腹部が痛みとともに排便したい感じがあるが、排便する内容がなく辛い状態が続くこと
904	S0002566	さじ爪爪	指の爪の表面がさじ爪にへこんだような状態になること
905	S0002563	コレラ顔貌	激しい下痢などで脱水状態がひどくなり皮膚がカサカサになった顔になる状態
906	S0002555	ケトン口臭	口臭がセメダインのような有機溶剤のような臭いがする状態
907	S0002552	けいれん性便秘	大腸がけいれんのように収縮して便の通りが悪くなり便秘になる状態
908	S0002544	クリーゼ	ホルモンの異常(低下)などで急激に血圧、体温、脈拍などが異常になり生命の危機になる状態
909	S0011820	ギランバレー症状	ギランバレー症候群という病気のような、四肢に力が入らない症状
910	S0002138	ガンマグロブリン高値	血液中に免疫グロブリンなどのタンパク質が増えすぎること
911	S0002139	カンジダ血症	血液中にカンジダという一種のカビ(真菌)が見つかる状態のこと
912	S0000024	カリウム異常	血液中的カリウムの濃度が高いか低いこと
913	S0002534	カフェオレ斑	茶褐色の斑
914	S0025796	う歯・多数	虫歯が多いこと
915	S0025795	う歯	虫歯
916	S0001735	うっ血乳頭	眼底検査において網膜で視神経があつまる重要な部分がむくんで見える状態
917	S0002519	インポテンツ	性交の意欲がなかったり、意欲があっても勃起しないなどで性交を果たせない状態(最近ではEDという)
918	S0002516	インスリン分泌による低血糖発作	血液中の糖分量(血糖)を下げる働きのあるインスリンが膵臓から出過ぎて血糖が下がりがりすぎる状態
919	S0002515	インスリン抵抗性	血液中の糖分量(血糖)を下げる働きのあるインスリンを投与しても血糖が下がらない状態
920	S0002510	イチゴ舌	舌の表面がイチゴの表面のようにブツブツの状態になっていること
921	S0002508	イチゴ状母斑	イチゴの表面のようなアザがある状態
922	S0002500	アルブミン低下	血液中の主要な栄養タンパク質のひとつであるアルブミンの量が血液中で低下していること
923	S0002486	アフタ性潰瘍	数ミリのへこんだ口内炎のような潰瘍のような状態
924	S0002484	アヒル歩行	アヒルのようなよちよち歩行
925	S0002483	アナフィラキシーショック	摂取した物や毒などが体内に入って急激にアレルギー反応が起こってショック状態(血圧が下がったり呼吸が止まりかけた意識がなくなるなど生命に危険な状態)がおこること
926	S0002471	アーモンド臭	吐く息の匂いにアーモンド臭があること
927	S0002451	ST低下	心電図で心室が収縮している最中の波形の高さが低めであること
928	S0002450	ST上昇	心電図で心室が収縮している最中の波形の高さが高めであること
929	S0022448	ST-T変化	心電図で心室が収縮している最中の波形に変化があること
930	S0002133	RAテスト陽性	リウマチのときに増えることがある成分が血液中で増えていること
931	S0002426	QT延長	心電図で心室が収縮し始めてからもとに戻るまでの長めになっていること
932	S0022199	QRS波低下	心電図で心室が収縮するときに出る一番大きな波形の高さが低いこと
933	S0032421	PTH上昇	頸部にある副甲状腺から出る、カルシウムの吸収に関係する副甲状腺ホルモン(パラロイドホルモン PTH)が血液中で上昇していること
934	S0001281	NK活性著減	NK細胞(ナチュラルキラー細胞:免疫系の細胞)の活性(元気さ)が減少していること
935	S0002396	LDH上昇	肝臓や心筋などに多くふくまれるLDHという酵素が血液中で上昇していること
936	S0022130	IL6上昇	IL6(インターロイキン6)という炎症時に増える物質が血液中で上昇していること
937	S0021040	IGM上昇	免疫グロブリンIgMというタンパク質が血液中で上昇していること
938	S0023482	IGG低下	免疫グロブリンIgGというタンパク質が血液中で減少していること
939	S0022128	IGG上昇	免疫グロブリンIgGというタンパク質が血液中で上昇していること
940	S0022127	IGE上昇	免疫グロブリンIgEというタンパク質が血液中で上昇していること
941	S0002470	G-GTP上昇	肝臓に多くふくまれるガンマー-グーティーピーという酵素が血液中で上昇していること
942	S0002312	CK上昇	筋肉内に多くふくまれるクレアチンキナーゼという酵素が血液中で上昇していること
943	S0001280	ATIII減少	AT3という血液中の血液を凝固させるときに必要な成分が減少していること
944	S0002278	ALP上昇	血液中のアルカリホスファターゼ(肝臓で作られる酵素)が上昇していること
945	S0022267	4音	聴診器の聴いた心臓の音(心音)の一拍2つめの音の後にもうひとつ音が聞こえること
946	S0022266	3音ギャロップ	聴診器の聴いた心臓の音(心音)の一拍2つめの音の後にもうひとつ音が馬の駆けるとききの音のように聞こえること
947	S0022265	3音	聴診器の聴いた心臓の音(心音)の一拍2つめの音の後にもうひとつ音が聞こえること
948	S0021097	2音亢進	聴診器の聴いた心臓の音(心音)の一拍2つめの音が普通より大きく聞こえること
949	S0002260	1回拍出量低下	心臓が1回収縮をして血液を全身に送り出す量が低下していること